DVD プレーヤー

DV-610AV

HDMI

DVD ビデオのリージョンナンバー

DVD プレーヤーとDVD ビデオには発売地域ごとにリージョンナンバー(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVD ビデオディスクは、リージョンナンバーの違いにより再生できないことがあります。本機のリージョンナンバーは「2」です。

再生できるDVD ビデオのリージョンナンバー表示の例: 2 ALL 2 など

インターネットによる登録のお願い

http://www.pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

もくじ

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して､誤った取り扱いをすると､人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：
付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

設置

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

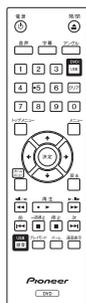
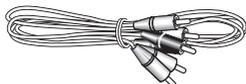
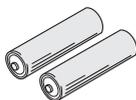
保守・点検

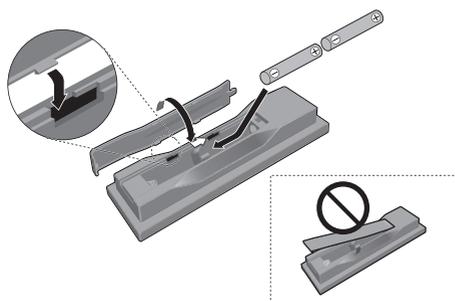
5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

準備する

付属品を確認する

- リモコン

- オーディオ・ビデオコード

- 単 3 形乾電池（R6P）× 2

- 保証書
- 取扱説明書（本書）

リモコンに電池を入れる

リモコンのフタを閉めるときは、凸凹を合わせてから白矢印（⇨）の方向にスライドさせてください。

メモ

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。
- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前など、高温になる場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、下記のような意味があります。

記号	意味
DVDビデオ	• 市販の DVD ビデオ • ビデオモードで記録されているファイナライズ済の DVD-R/-RW/-R DL、および DVD+R/+RW/+R DL
DVDオーディオ	市販の DVD オーディオ
DVD VR	VR モードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL
ビデオCD	ビデオ CD
SACD	市販のスーパーオーディオ CD（SACD）
CD(R/RW)	• 市販の音楽 CD • CD-DA フォーマットで音楽が記録されている CD-R/-RW/-ROM

JPEG	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている JPEG ファイル
DivX®	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、およびUSB機器に記録されているDivXビデオファイル
WMV	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている WMV ファイル
WMA	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている WMA ファイル
MP3	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、およびUSB機器に記録されているMP3ファイル
MPEG-4 AAC	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、および USB 機器に記録されている MPEG-4 AAC ファイル

再生できるディスク

- 本機は NTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVD-Audio

DVD-Video

DVD-R

DVD-RW

Audio CD

Video CD

CD-R

CD-RW

Super Audio CD

Fujicolor CD

- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- は富士フイルム株式会社の商標です。

メモ

- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

DVD の再生について

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR

- 市販の DVD ビデオを再生できます。
- 市販の DVD オーディオを再生できます。
- ビデオモードまたはVRモードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL（デュアル・レイヤー）を再生できます。
- ビデオモードで記録されている DVD+R/+RW/+R DL（ダブル・レイヤー）を再生できます。
- 動画 / 音楽 / 画像ファイルが記録されている DVD-R/-RW/-R DL を再生できます。
- DVD-ROM および DVD-RAM は再生できません。
- UDF（ユニバーサルディスクフォーマット）に準拠しているディスクに記録してください。
- DVD レコーダーで編集（部分消去など）した映像を再生すると、映像のつなぎ目で一瞬止まることがあります。
- DVD レコーダーなどで編集した映像が編集したとおりに再生されないことがあります。

リージョンナンバー（地域番号）について

DVDビデオ

DVD プレーヤーと DVD ビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機に設定されたリージョンナンバーが、再生するディスクのリージョン

ナンバーに含まれていないときは再生できません。本機（日本向け）で再生できるリージョンナンバーは「2（2 を含む）」または「ALL」です。

CD/ ビデオ CD/SACD の再生について

CD(R/RW) ビデオCD SACD

- 市販の音楽 CD、CD-DA（音楽 CD）、およびビデオ CD を再生できます。
- 市販のスーパーオーディオCD（SACD）を再生できます。
- 動画 / 音楽 / 画像ファイルが記録されている CD-R/-RW/-ROM を再生できます。
- CD-G は再生できません。
- マルチセッションには対応していません（**P.58**）。
- ディスクによっては“再生できない”、“ノイズが出る”、または“音が歪む”ことがあります。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDisc の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD 面ではないオーディオ面は一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生できます。
- DVD オーディオは再生できません。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

パソコンで作成したディスクの再生について

- レコーダー、またはパソコンで記録したディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によっては再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください）。

再生できるファイル

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet/Romeo）に準拠して記録されたディスクだけ再生できます。
- DRM[1] で保護されているファイルは再生できません。
- フォルダー名は 1 枚のディスクで最大 299 フォルダーまで認識できます。ファイル名は1フォルダー内に最大648ファイルまで認識できます。ただし、フォルダーの構成によってはフォルダーまたはファイルを認識できないことがあります。
- フォルダー名およびファイル名を表示できます。ただし、半角英数字以外の文字は表示できません。半角英数字以外で入力されているフォルダー名およびファイル名は[F_001]または[FL_001]などに置き換えて表示されることがあります。また、文字化けして表示されることもあります。

1. DRM（Digital Rights Management）コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

動画ファイルの再生について

DivX® WMV

DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、または USB 機器に記録されている WMV ファイルおよび DivX ファイルを再生できます。

Windows Media™ Video（WMV）ファイルの再生について

- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- 本製品は、米国 Microsoft Corporation が所有する技術を使用しています。また、米国 Microsoft Licensing Inc. の許可を得ずに使用または頒布できません。
- 米国 Microsoft Corporation によって開発された映像 / 音声圧縮技術です。
- Windows Media Player 9 Series を使ってエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。
- 拡張子「.wmv」の付いているファイルおよび解像度が 720 × 480 ピクセルまでのファイルを再生できます。
- Advanced Profileには対応していません。

DivX ファイルの再生について

- DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには、画像データが含まれます。
- また、DivXファイルはメニュー画面および複数の字幕/音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。

- DivX® Ultra Certified 製品。
- DivX® メディアファイルと DivX® Media Format の高度な再生機能が付いている DivX® ビデオを再生（DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応）。
- DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。
- 拡張子「.avi」または「.divx」が付いているファイルだけ再生できます。また本機では、「.avi」という拡張子はMPEG-4として認識します。MPEG-4でもDivXファイルでないときは本機で再生できないことがあります。

画像ファイルの再生について

JPEG

DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、または USB 機器に記録されている JPEG ファイルを再生できます。

JPEG ファイルの再生について

- 画像ファイルを保存する形式（画像フォーマット）です。
- フジカラー CD、コダックピクチャー CD、または CD-R/-RW/-ROM に記録されているファイルを再生できます。
- 総ピクセル数が 3072 × 2048 ピクセル以下のベースラインJPEG および Exif 2.2[1]（**P.58**）に準拠している JPEG の再生に対応しています。
- 拡張子「.jpg」または「.JPG」が付いているファイルを再生できます。
- JPEG HD に対応しています。720p または 1080i の高解像度で画像を出力します。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- 容量が大きいファイルは再生するまでに時間がかかることがあります。

---

1. デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格（Exif）Ver2.2、JEIDA-49-1998（社）電子情報技術産業協会 JEITA

- 縦横比が異なる JPEG ファイルを再生したときは、画像の縦または横に黒い帯を付けて表示することがあります。

音楽ファイルの再生について

WMA MP3 MPEG-4 AAC

DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM、または USB 機器に記録されている WMA ファイル、MP3 ファイル、および MPEG-4 AAC ファイルを再生できます。

Windows Media Audio（WMA）ファイルの再生について

- 米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。
- Windows Media Player Ver.7、7.1、Windows Media Player for Windows XP、または Windows Media Player 9 Seriesを使ってエンコードできます。
- 米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使ってエンコードしてください。認証されていないアプリケーションを使うと正しく動作しないことがあります。
- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されているファイルに対応しています。
- ビットレートの上限は 192 kbps までです。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）およびロスレスエンコーディング（loss-less encoding）には対応していません。
- 拡張子「.wma」または「.WMA」が付いているファイルだけ再生できます。

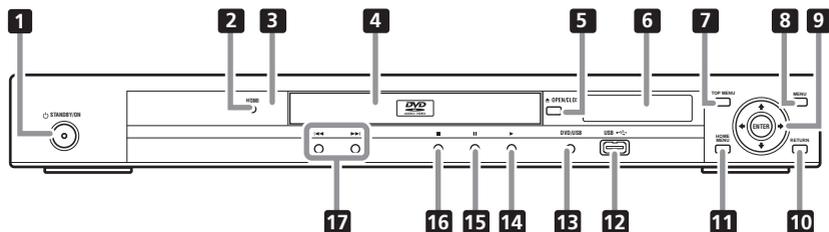
MP3（MPEG-1 Audio Layer-3）ファイルの再生について

- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されているファイルに対応しています。
- 可変ビットレート（VBR: Variable Bit Rate）には対応していません（再生できても表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします）。
- 拡張子「.mp3」または「.MP3」が付いているファイルだけ再生できます。
- 音質的には、128 kbps 以上の記録ビットレートをお勧めします。

MPEG-4 AAC（Advanced Audio Coding）ファイルの再生について

- MPEG-2 および MPEG-4 で使われている音声圧縮技術の基本フォーマットです。
- iTunes を使ってエンコードされたファイルに対応しています。
- 拡張子「.m4a」が付いているファイルだけ再生できます。
- エンコードした iTunesのバージョンによっては、再生できないことがあります。
- iTunes は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

各部の名前とはたらき

本体前面部

1 ⏻ STANDBY/ON

電源をオンまたはオフします。

2 HDMI（P.15）

HDMI 出力端子に接続した機器を認識しているときに点灯します。

3 リモコン受光部

- 約 7 m 以内の距離からリモコンをここに向けて操作します。
- 直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。

4 ディスクトレイ

5 ⏏ OPEN/CLOSE

ディスクトレイを開閉します。

6 本体表示窓（P.13）

7 TOP MENU

DVD ビデオまたは DVD オーディオのトップメニュー画面を表示します。

8 MENU

メニュー画面またはディスクナビゲーターを表示します。

9 ⬆/⬇/⬅/➡

項目を選ぶまたは設定を変更するときに使います。また、カーソルを移動します。

ENTER

選んだ項目を実行するまたは変更した設定を確定するときなどに使います。

10 RETURN

1 つ前の画面に戻ります。

11 HOME MENU

ホームメニューを表示または終了します。

12 USB 端子（A タイプ）（P.23）

USB 機器を接続します。

13 DVD/USB（P.23）

DVD モードと USB モードを切り換えます。

14 ▶

再生を始めます。

15 ❚❚

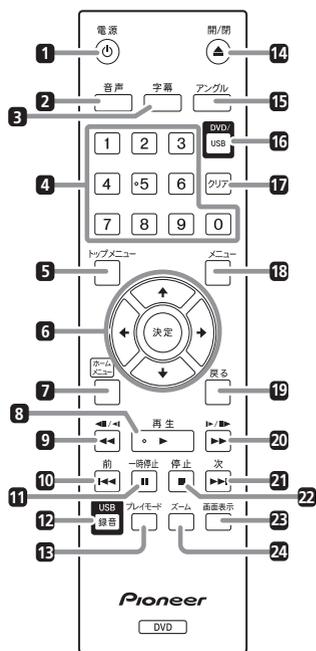
再生を一時停止します。もう一度押すと再開します。

16 ■

再生を停止します。

17 ⏮/⏭（P.21）

チャプター、トラック、またはファイルを頭出しします。

リモコン

1　⏻ 電源

電源をオンまたはオフします。

2　音声（P.21）

音声を切り換えます。

3　字幕（P.21）

字幕を切り換えます。

4　数字 (0 ～ 9) ボタン

見たい/聞きたいタイトル、チャプター、グループ、トラック、またはファイルを指定して再生するときに使います。また、メニュー画面で項目を選ぶときなどにも使います。

5　トップメニュー

DVD ビデオまたは DVD オーディオの最上層のメニュー画面を表示します。

6　⬆/⬇/⬅/➡

項目を選ぶまたは設定を変更するときに使います。また、カーソルを移動します。

決定

選んだ項目を実行するまたは変更した設定を確定するときなどに使います。

7　ホームメニュー

ホームメニューを表示または終了します。

8　► 再生（P.19）

再生を始めます。

9　◄◄/◄II/◄I（P.20）

再生中に押すと早戻しします。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生します。押し続けると逆方向にスロー再生します。

10　I◄◄ 前（P.21）

再生中のチャプター、グループ、トラック、またはファイルの先頭に戻ります。

11　II 一時停止（P.19）

再生を一時停止します。再度押すと再開します。

12　USB 録音（P.24）

CD → USB 録音画面を表示します。

13　プレイモード（P.28）

プレイモード画面を表示または終了します。

14　⏏ 開 / 閉

ディスクトレイを開閉します。

15　アングル（P.22）

DVD ビデオでアングルを切り換えます。

16　DVD/USB（P.23）

DVD モードと USB モードを切り換えます。

17　クリア

選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。

18　メニュー

メニュー画面またはディスクナビゲーターを表示します。

19　戻る

1 つ前の画面に戻ります。

20　►►/I►/II►（P.20）

再生中に早送りします。一時停止中に押すとコマ送り再生します。押し続けるとスロー再生します。

21　►►I 次（P.21）

次のチャプター、グループ、トラック、またはファイルの先頭に進みます。

22 ■ 停止

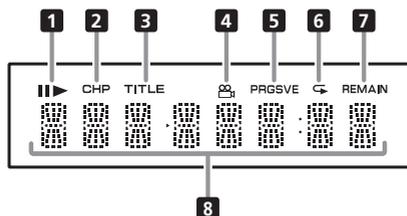
再生を停止します。

23 画面表示（P.22）

ディスクの情報を表示します。

24 ズーム（P.22）

映像または画像を拡大します。

本体表示窓

1 II

一時停止しているときに点灯します。

▶

再生しているときに点灯します。

2 CHP

チャプター番号を表示しているときに点灯します。

3 TITLE

タイトル番号を表示しているときに点灯します。

4 （P.22）

他のアングルに切り換えられるときに点灯します（DVD ビデオのみ）。

5 PRGSVE（P.37）

[コンポーネント出力] が [プログレッシブ]に設定されているときに点灯します。

6 （P.29）

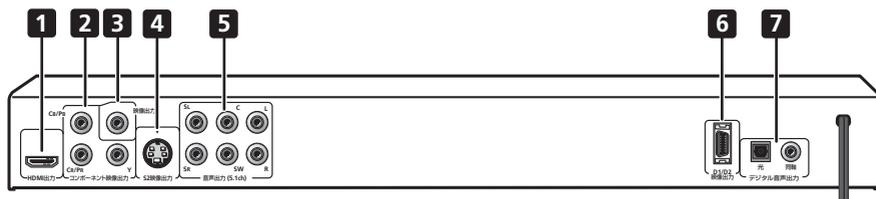
リピート再生中に点灯します。

7 REMAIN

再生中のタイトル、チャプター、グループ、またはトラックの残り時間を表示しているときに点灯します。

8 カウンター表示

タイトル、チャプター、グループ、トラック、またはファイル番号や経過時間などを表示します。

本体背面部

1 HDMI 出力端子（P.15）

2 コンポーネント映像出力端子（P.16）

3 映像出力端子（P.14）

4 S2 映像出力端子（P.14）

5 音声出力 (5.1ch) 端子（P.14, 16~18）

6 D1/D2 映像出力端子（P.17）

7 デジタル音声出力(同軸/光)端子（P.17）

接続する

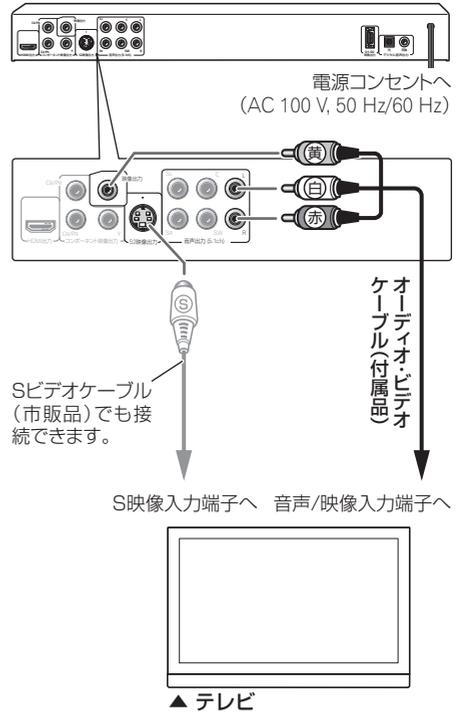
- 本機を他の機器と接続する、あるいは接続を変更するときは、必ず電源を切り電源コードをコンセントから抜いてください。
- **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
  本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

テレビと接続する

付属のオーディオ・ビデオケーブルを使って接続する

▼ 本機背面部

S映像入力端子へ　音声/映像入力端子へ

▲ テレビ

HDMI ケーブルを使って接続する

1 本のケーブルで、映像と音声を劣化のないデジタル信号でHDMI対応テレビに伝送できます。接続後、HDMI 対応テレビに合わせて本機の解像度と HDMI カラーを設定してください。HDMI 対応テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

– HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

メモ

- 本機のインターフェースは、下記の規格に基づいて設計されています。
  High-Definition Multimedia Interface Specification
- HDMI 対応機器と接続すると、本体表示窓に解像度（「※※※※」）が表示されます。
- 本機の HDMI 出力端子から出力する映像の解像度は手動で変更します。
  [HDMI 画素数] の設定を変更します（**P.38**）。2 台分の設定を記憶できます。
- 本機は HDMI 対応機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続すると正しく動作しないことがあります。

テレビと接続する

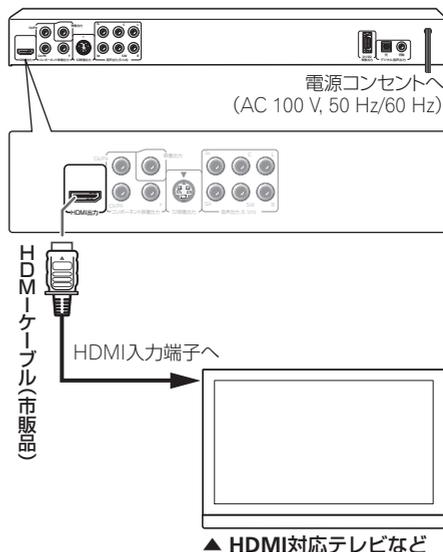
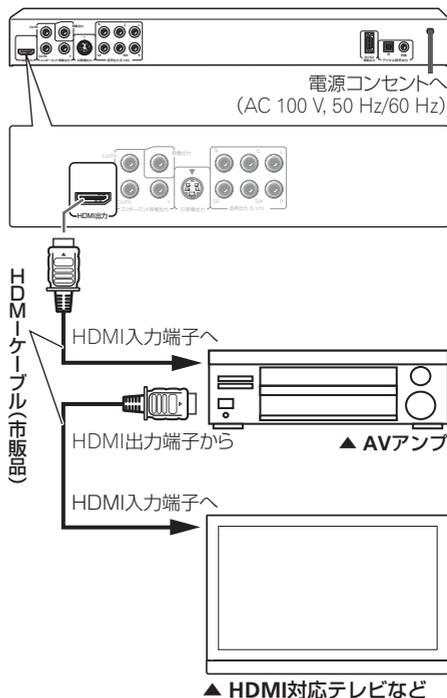
▼ 本機背面部

▲ **HDMI対応テレビなど**

AV アンプと接続する

▼ 本機背面部

▲ **AVアンプ**

▲ **HDMI対応テレビなど**

HDMI 出力端子から出力される映像 / 音声について

本機の HDMI 出力端子から出力できる映像（解像度）について

- 720 × 480 ピクセルのプログレッシブまたはインターレース映像
- 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
- 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブまたはインターレース映像

本機の HDMI 出力端子から出力できる音声について

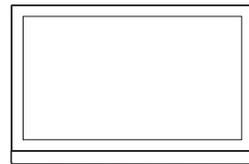
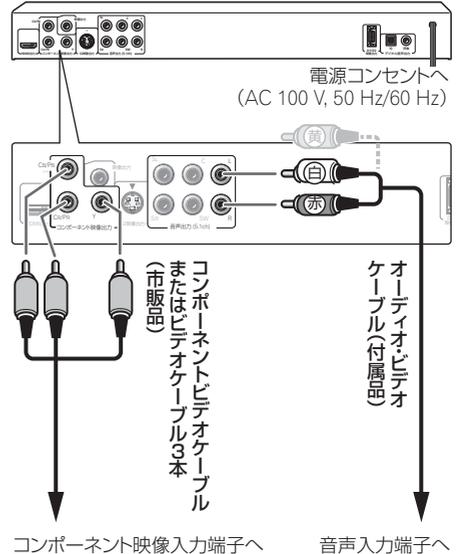
- 44.1 kHz～96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2 チャンネルリニア PCM 音声（2 チャンネルダウンミックスを含む）
- 44.1 kHz～96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 5.1 チャンネルリニア PCM 音声
- ドルビーデジタル 5.1 チャンネル音声
- DTS 5.1 チャンネル音声
- MPEG 音声
- SACD の 2 チャンネル DSD 音声
- SACD の 5.1 チャンネル DSD 音声

DOLBY DIGITAL

– ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

– 米国特許 5451942 号、5956674 号、5974380 号、5978762 号 、6226616 号、6487535 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS および DTS Digital Surround は DTS 社の登録商標であり、DTS のロゴ、記号および DTS 96/24 は DTS 社 の商標です。© 1996 — 2007 DTS 社不許複製。

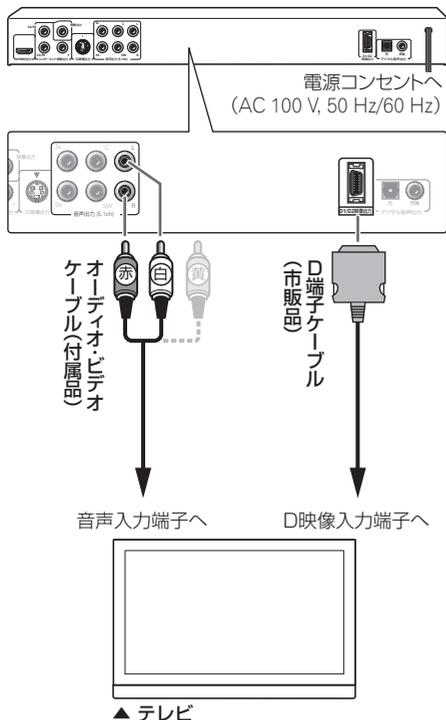
高画質映像を楽しむ

市販のコンポーネントビデオケーブルを使って接続する

▼ 本機背面部

▲ テレビ

市販の D 端子ケーブルを使って接続する

▼ 本機背面部

▲ テレビ

メモ

- 本機の D1/D2 映像出力端子は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続できます。ただし、D1 入力端子と接続したときはインターレース出力だけとなります。

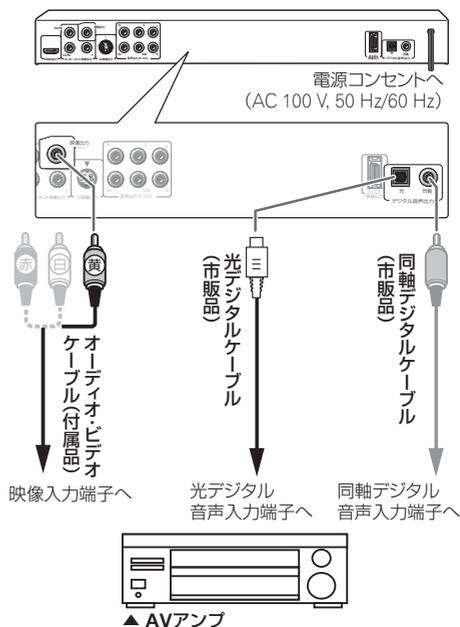
サラウンドサウンドを楽しむ

- デジタル音声出力端子（光 / 同軸）または音声出力（5.1 ch）端子にドルビーデジタル、または DTS 音声に対応している AV アンプなどを接続します。
- AV アンプとテレビ、および AV アンプとスピーカーの接続については、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

市販のデジタル音声ケーブルを使って接続する

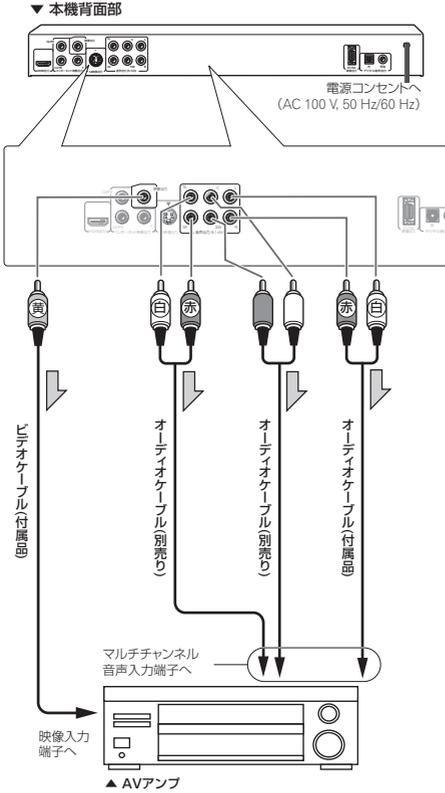
光デジタル音声ケーブルまたは同軸デジタル音声ケーブルのいずれかを使って接続します。

▼ 本機背面部

▲ AVアンプ

メモ

- デジタル音声出力（光）端子に接続するときは、端子に付いているキャップを抜いてから端子の向きを合わせて接続してください。接続しないときはキャップを付けてお使いください。

アナログ音声ケーブルを使って接続する

付属のオーディオケーブル 1 本と市販のオーディオケーブル 2 本を使って接続します。接続後、[音声出力モード] を [5.1 チャンネル] に設定してください。

再生する

あらかじめテレビの電源をオンにして、テレビの入力を切り換えてください。

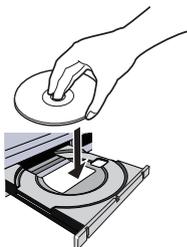
ディスクまたはファイルを再生する

1 電源をオンにする

- ⏻ **電源ボタン**を押します。

2 ディスクトレイを開閉してディスクをセットする

- ⏏ **開 / 閉ボタン**を押します。

- 印刷面を上にしてディスクをセットしてください。

3 再生する

- ▶ **再生ボタン**を押します。

- 一時停止するには、再生中に ❚❚ **一時停止ボタン**を押します。
- 停止するには、再生中に ■ **停止ボタン**を押します。
- 電源をオフするには、⏻ **電源ボタン**（または本体前面部の⏻ **STANDBY/ONボタン**）を押します。

メモ

- セットすると自動で再生を始めるディスクがあります。
- テレビ画面の上下に黒い帯が付くディスクがあります。

メニュー画面が表示されたとき

再生を始めると自動でメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の内容や操作方法はディスクによって異なります。

停止した場所から再生する（リジューム再生）

- 再生中に ■ **停止ボタン**を押すと停止した場所を記憶します。▶ **再生ボタン**を押すと停止した場所から再生します。
- CD（-R/-RW）または動画ファイルのときは、再生していたタイトルまたはトラックの先頭から再生します。
- リジューム再生を解除するには、停止中に ■ **停止ボタン**を押します。

メモ

- DVD オーディオおよび SACD は、リジューム再生できません。
- リジューム再生できないディスクがあります。

取り出したディスクの停止した場所を記憶する（ラストメモリー）

- 取り出した DVD ビデオ（5 枚分）およびビデオ CD（1 枚分）の停止した場所を記憶します。もう一度セットして ▶ **再生ボタン**を押すと、取り出す前に停止した場所から再生します。
- ラストメモリーを解除するには、停止中に ■ **停止ボタン**を押します。
- 停止した場所を記憶させたくないときは、再生中に ⏏ **開 / 閉ボタン**を押してディスクを取り出してください。

メモ

- DVD ビデオおよびビデオ CD の停止した場所だけ記憶できます。
- 停止した場所を記憶できないディスクがあります。記憶できる枚数の制限を超えたときは、古い記憶に上書きされます。

いろいろな機能を使って再生する

ディスクやファイルの種類によって、できない機能があります。

早送り / 早戻し

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC DivX® WMV	• 再生中に ◀◀/◀II/◀▮ **ボタン**または ▶▶/▮▶/II▶ **ボタン**を押します。 • 押すたびに速さを切り換えられます。速さの段階はディスクまたはファイルによって異なります。 • 通常の再生に戻すには ▶ **再生ボタン**を押します。 • 動画ファイルは速さを切り換えられません。

コマ送り / コマ戻しする

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV	• 一時停止中に ◀◀/◀II/◀▮ **ボタン**または ▶▶/▮▶/II▶ **ボタン**を押します。 • 押すたびにコマ送り / コマ戻しします。 • 通常の再生に戻すには、▶ **再生ボタン**を押します。 • コマ送り / コマ戻し再生中は音声が出力されません。 • コマ戻し再生中に映像が揺れることがあります。 • ビデオ CD および動画ファイルはコマ戻し再生できません。

スロー再生

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV	• 一時停止中に ◀◀/◀II/◀▮ **ボタン**または ▶▶/▮▶/II▶ **ボタンボタン**を押し続けます。 • テレビ画面に「スロー」と表示されるまで押し続けます。 • 押すたびに速さを切り換えられます。速さの段階はディスクまたはファイルによって異なります。 • 通常の再生に戻すには ▶ **再生ボタン**を押します。 • スロー再生中は音声が出力されません。 • ビデオ CD および動画ファイルは逆方向のスロー再生ができません。

頭出し（スキップ）

- 再生中に ⏮ **前ボタン**または ⏭ **次ボタン**を押します。
- ⏭ **次ボタン**を押すと次のタイトル、チャプター、グループ、トラック、またはファイルの先頭に進みます。
- ⏮ **前ボタン**を押すと再生中のタイトル、チャプター、グループ、トラック、またはファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前に戻ります。ただし、ランダム再生中は、前のタイトル、チャプター、グループ、またはトラックには戻れません。
- ビデオ CD の PBC 再生中は操作方法が異なります。ディスクジャケットなどで確認してください。

タイトル、チャプター、グループ、またはトラックを指定して再生する

- **数字 (0 ～ 9) ボタン**で再生したいタイトル、チャプター、グループ、またはトラック番号入力して**決定ボタン**を押します。
- 番号を入力してから 2 秒以上経過すると自動で再生を始めます。
- DVD ビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターだけ指定できます。

音声を切り換える

DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR
ビデオCD　CD(R/RW)　DivX®

複数の音声が収録されているディスクまたはファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。

- 再生中に**音声ボタン**を押します。
- 押すたびに音声が切り換わります。
- 収録されている音声の種類はディスクまたはファイルによって異なります。
- メニュー画面で音声を切り換える DVD ビデオがあります。
- 音声を切り換えたときに映像が一瞬静止することがあります。
- DVD オーディオの再生中に音声を切り換えるとトラックの先頭に戻って再生します。
- リジューム再生またはラストメモリーを解除したときは [音声言語] の設定に戻ります（**P.38**）。

字幕を切り換える

DVDビデオ　DivX®

複数の字幕が収録されている DVD ビデオまたは DivX では、再生中に字幕を切り換えられます。

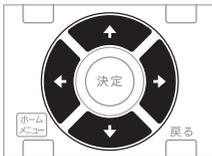
- 再生中に**字幕ボタン**を押します。
- 押すたびに字幕が切り換わります。
- 収録されている字幕の種類はディスクまたはファイルによって異なります。
- 字幕が収録されていないときは「ー / ー」が表示されます。
- メニュー画面で字幕を切り換える DVD ビデオがあります。
- リジューム再生またはラストメモリーを解除したときは、[字幕言語] の設定に戻ります（**P.38**）。

アングルを切り換える（マルチアングル）

DVDビデオ 複数のアングルが収録されている DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。 	• 再生中に**アングルボタン**を押します。 • 押すたびにアングルが切り換わります。 • メニュー画面でアングルを切り換えられる DVD ビデオもあります。 • 複数のアングルが収録されている場面で 🎥 マークがテレビ画面に表示されます。🎥 マークを表示させたくないときは [アングルマーク表示] を [オフ] に設定します（**P.39**）。

映像（画像）を拡大する

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV JPEG 	• **ズームボタン**を押します。 • 拡大する場所（ズームエリア）が表示されます。 • **⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**でズームエリアを移動できます。 • 押すたびに倍率（2 倍→ 4 倍→通常）が切り換わります。 • JPEG ファイル のスライドショー再生中は拡大する場所（ズームエリア）が表示されません。 • JPEG ファイルを拡大しているときは、▶ **再生ボタン**を押して通常のスライドショー再生に戻すこともできます。

画像を回転（反転）する

JPEG 	• スライドショー再生中に **⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**を押します。 • **⬆ ボタン**を押すと画像の上下が反転します。 • **⬇ ボタン**を押す画像の左右が反転します。 • **⬅ ボタン**を押すたびに画像が反時計回りに 90°回転します。 • **➡ ボタン**を押すたびに画像が時計回りに 90°回転します。 • 通常のスライドショーに戻すには、▶ **再生ボタン**を押します。

ディスクまたはファイルの情報を見る

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) DivX® WMV 	• 再生中に**画面表示ボタン**を押します。 • 経過時間や残量などが表示されます。 • ディスクまたはファイルによっては、押すたびに表示内容が切り換わります。 • 情報を消すには、消えるまで**画面表示ボタン**を数回押します。 • ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください（**下記**）。

ビデオ CD をメニュー画面から再生する（PBC 再生）

ビデオCD ビデオ CD をメニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール) 再生といいます。ディスクによって表示内容と操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドなどもあわせてご覧ください。	• メニュー画面を表示するには、PBC 再生対応ディスクをセットして、▶ **再生ボタン**を押します。 • PBC 再生を始めるには、メニュー画面を表示中に**数字（0 ～ 9）ボタン**でトラックを選んで、**決定ボタン**を押します。 • メニュー画面に戻るには、再生中に**戻るボタン**を押します。 • ページを切り換えるには、**⏮ 前 /⏭ 次ボタン**を押します。 • メニュー画面を表示しないで再生する（PBC 再生を解除して再生する）には、停止中に**数字（0 ～ 9）ボタン**でトラックを選んで**決定ボタン**を押します（または停止中に **⏮ 前 /⏭ 次ボタン**でトラックを選びます）。

USB 機器に記録されているファイルを再生する

- 著作権保護（DRM）されていない 動画 / 音楽 / 画像ファイルを再生できます。
- USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。[1]
- すべての USB 機器に記録されているファイルの再生、および USB 機器への電源供給は保証できません。また、万一本機に接続したことで USB 機器のファイルが損失しても、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。
- USB 機器によっては正しく認識できないことがあります。
- ファイルによっては再生できないことがあります。

1 電源をオンにする

- ⏻ **電源ボタン**を押します。

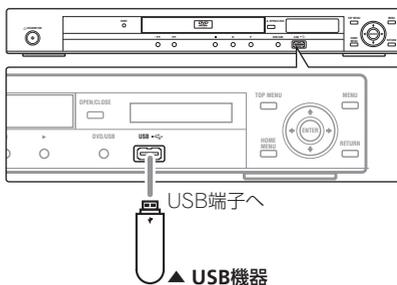
2 入力をUSBモードに切り換える

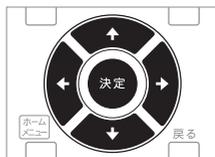
- **DVD/USB ボタン**を押します。

- 本体表示窓に「USB MODE」と表示されます。

3 USB 機器を接続する

- ディスクナビゲーターが自動で表示されます。

▼ 本体前面部

4 再生する

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**でファイルを選んで、**決定ボタン**を押します。

- USB 機器は電源をオフにしてから取り外してください。
- 次に電源をオンしても入力はUSBモードのままです。DVD モードに戻すときは **DVD/USB ボタン**を押します（または、⏏ **開 / 閉ボタン**を押してディスクトレイを開けます）。

1. 携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器（FAT16/FAT32）に対応しています。

メモ

- お使いの USB 機器によっては、正しく認識できないことがあります。
- パソコンに記録されているファイルは再生できません。
- USB ハブには対応していません。
- 容量の大きいUSB機器を接続したときは読み込みに時間がかかることがあります（数分かかることもあります）。
- USB 機器に電源を供給できないことがあります。詳しくは「故障かな？と思ったら 」（**P.47**）をご覧ください。

音楽 CD のトラックを USB 機器に録音する

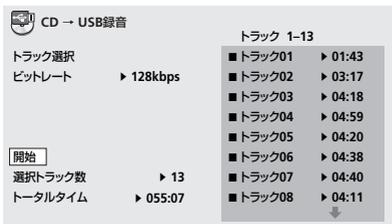
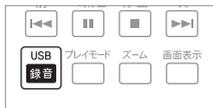
本機にセットした音楽 CD のトラックを USB 端子に接続した USB 機器に録音できます。

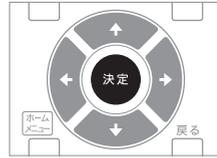
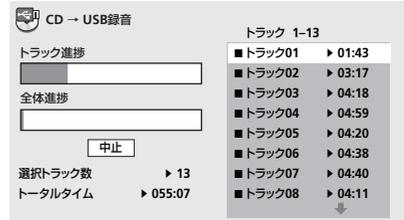
すべてのトラックを録音する

1 音楽 CD をセットする

- **■ 停止ボタン**を押して、再生を停止してください。

2 CD → USB 録音画面を表示する

- **USB 録音ボタン**を押します。

3 録音を始める

- **決定ボタン**を押します。

- 録音が始まります。録音中は下記の画面が表示されます。

メモ

- USB 機器の残量が足りないときは、録音を始められません。「USB の空き容量が足りません」と表示されます。

トラックを選んで録音する

1 音楽 CD をセットする

- **■ 停止ボタン**を押して、再生を停止してください。

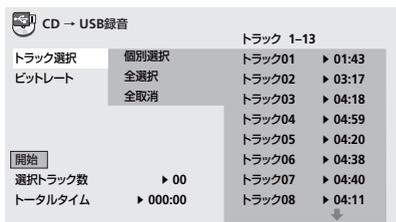
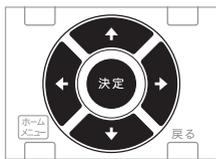
2 ホームメニューを表示する

- **ホームメニューボタン**を押します。

3 [CD → USB 録音] を選ぶ

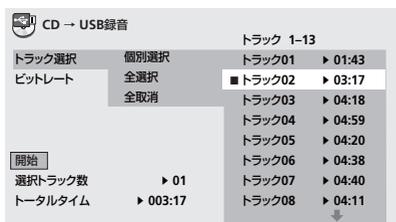
- 音楽 CD の停止中だけ [CD → USB 録音] を選べます。
- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

CD → USB録音

		トラック 1–13	
トラック選択	個別選択	トラック01	01:43
ビットレート	全選択	トラック02	03:17
	全取消	トラック03	04:18
		トラック04	04:59
		トラック05	04:20
開始		トラック06	04:38
選択トラック数	00	トラック07	04:40
トータルタイム	000:00	トラック08	04:11

4 [トラック選択] → [個別選択] → 録音したいトラックを選ぶ

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選びます。

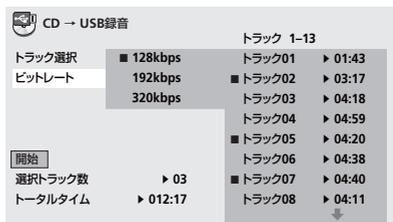
CD → USB録音

		トラック 1–13	
トラック選択	個別選択	トラック01	01:43
ビットレート	全選択	■ トラック02	03:17
	全取消	トラック03	04:18
		トラック04	04:59
		トラック05	04:20
開始		トラック06	04:38
選択トラック数	01	トラック07	04:40
トータルタイム	003:17	トラック08	04:11

- **個別選択**： 1 トラックずつ選びます。
- **全選択 :** すべてのトラックを選びます。
- **全取消:** トラックを選んでいない状態に戻します。

5 ビットレート（転送レート）を選ぶ

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

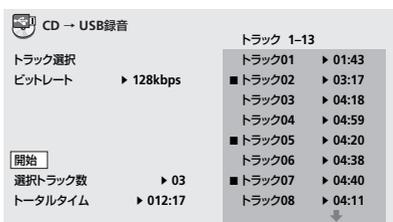
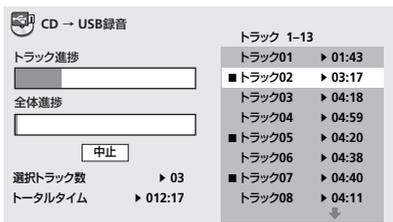
CD → USB録音

		トラック 1–13	
トラック選択	■ 128kbps	トラック01	01:43
ビットレート	192kbps	■ トラック02	03:17
	320kbps	トラック03	04:18
		トラック04	04:59
		■ トラック05	04:20
開始		トラック06	04:38
選択トラック数	03	■ トラック07	04:40
トータルタイム	012:17	トラック08	04:11

- [128kbps]、[192kbps]、または [320kbps] から選びます。

6 録音を始める

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で [開始] 選んで、**決定ボタン**を押します。

CD → USB録音

		トラック 1–13	
トラック選択		トラック01	01:43
ビットレート	128kbps	■ トラック02	03:17
		トラック03	04:18
		トラック04	04:59
		■ トラック05	04:20
開始		トラック06	04:38
選択トラック数	03	■ トラック07	04:40
トータルタイム	012:17	トラック08	04:11

- 録音が始まります。

メモ

- 録音が終わると、USB 機器に自動で PIONEER フォルダーが作成されます。録音したトラックは、このフォルダーに保存されます。
- PIONEER フォルダーは、最大 99 個まで作成できます。
- USB 機器に 300 個以上フォルダーがあるときは、録音できません。

ディスクナビゲーターを使って再生する

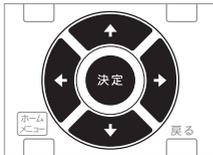
ディスクを再生する

DVDビデオ DVD VR ビデオCD

1 ホームメニューを表示する

- **ホームメニューボタン**を押します。

2 [ディスクナビゲーター] を選ぶ

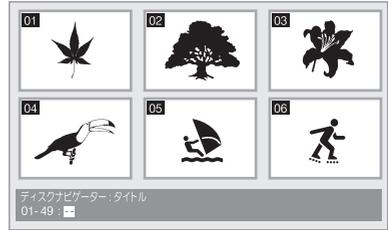
- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 ディスクナビゲーターの種類を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- ディスクナビゲーターが表示されます。
- ディスクナビゲーターの表示内容はディスクによって異なります。

4 タイトル、チャプター、またはトラックを指定して再生する

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

- ページを切り換えるには、⏮ **前ボタン**または ⏭ **次ボタン**を押します。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻るボタン**を押します。
- ディスクナビゲーターを終了するには、**ホームメニューボタン**を押します。

メモ

- ディスクナビゲーターを表示できない DVD ビデオがあります。
- ビデオ CD の PBC 再生中はディスクナビゲーターを表示できません。PBC 再生を解除してください（**P.23**）。

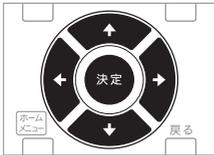
ファイルを再生する

DivX® WMV WMA MP3 MPEG-4 AAC JPEG

1 ホームメニューを表示する

- **ホームメニューボタン**を押します。

2 [ディスクナビゲーター] を選ぶ

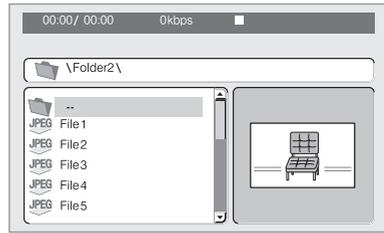
- **⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 フォルダーを選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

4 ファイルを選んで再生する

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- JPEG ファイルを再生したときは、画像が自動で切り換わります（スライドショー再生)。
- 1 つ前の画面に戻るには、**⬅ ボタン**を押します（[--] を選んで、**決定ボタン**を押しても戻ります)。
- ディスクナビゲーターを終了するには、**ホームメニューボタン**を押します。

メモ

- 1 枚のディスクに音楽ファイルと JPEG ファイルが記録されているときは、同時に再生できます。音楽ファイルを選んでから JPEG ファイルを選んで再生してください。
- ディスクナビゲーターに表示されるファイル名またはフォルダー名の文字数は 14 文字までです。

プレイモード機能を使って再生する

プレイモード機能が働かないディスクまたはファイルもあります。

プレイモード画面を表示する

● プレイモード画面を表示する

・再生中に**プレイモードボタン**を押します。

・ホームメニューから [プレイモード] を選んで、**決定ボタン**を押しても表示できます。

 メモ

・ビデオ CD の PBC 再生中はプレイモード画面を表示できません。PBC 再生を解除してください（**P.23**）。

指定した箇所を繰り返し再生する（A-B リピート再生）

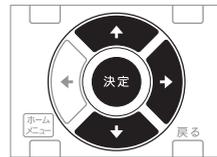
DVDビデオ DVD VR ビデオCD CD(R/RW)

1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。

1 プレイモード画面を表示する

・再生中に**プレイモードボタン**を押します。

2 [A-B リピート] を選ぶ

・**⬆/⬇ボタン**で選んで**決定ボタン**または**➡ ボタン**を押します。

3 A-B リピート再生を始める箇所を選ぶ

・**⬆/⬇ ボタン**で [A（開始箇所）] を選んで、**決定ボタン**を押します。

例

4 A-B リピート再生を終了したい箇所を選ぶ

・**⬆/⬇ ボタン**で [B（終了箇所）] を選んで、**決定ボタン**を押します。
・A-B リピート再生が始まります。
・A-B リピート再生を解除するには、[オフ] を選んで、**決定ボタン**を押します。

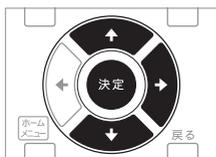
繰り返し再生する（リピート再生）

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) DivX® WMV

1 プレイモード画面を表示する

- 再生中に**プレイモードボタン**を押します。

2 [リピート] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**または ➡ **ボタン**を押します。

3 リピート再生の種類を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- リピート再生が始まります。
- リピート再生を解除するには、[リピートオフ] を選んで、**決定ボタン**を押します（再生を停止すると自動で解除されます）。
- リピート再生の種類は、ディスクおよびファイルによって異なります。

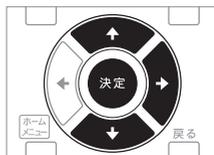
順不同に再生する（ランダム再生）

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)

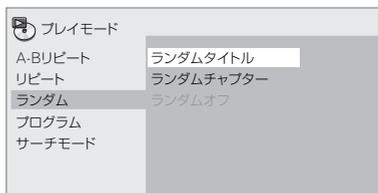
1 プレイモード画面を表示する

- **プレイモード**を押します。

2 [ランダム] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**または ➡ **ボタン**を押します。

3 ランダム再生の種類を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

例：DVD ビデオのランダム画面

- ランダム再生が始まります。
- ランダム再生を解除するには、[ランダムオフ] を選んで、**決定ボタン**を押します（再生を停止すると自動で解除されます）。
- ランダム再生の種類は、ディスクまたはファイルによって異なります。

メモ

- プログラムした内容は順不同に再生できません（プログラム再生中はランダム再生できません）。
- ランダム再生中は同じタイトル、チャプター、またはトラックを再生することがあります。

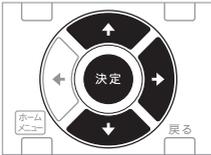
お好みの順に再生する（プログラム再生）

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD
CD(R/RW) DivX® WMV WMA
MP3 MPEG-4 AAC

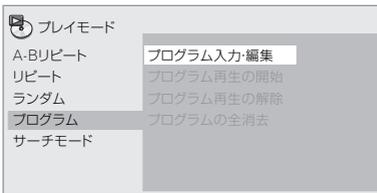
1 プレイモード画面を表示する

- **プレイモードボタン**を押します。

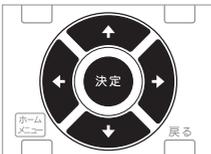
2 [プログラム] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**または ➡ **ボタン**を押します。

3 [プログラム入力・編集] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- [プログラム入力・編集] 画面は、ディスクまたはファイルによって異なります。

4 再生したいタイトル、チャプター、トラック、またはファイルを選ぶ

- ⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- プログラムを追加するには、追加する位置（プログラムステップ）を選んでから、タイトル、チャプター、またはトラックを選んで、**決定ボタン**を押します（ファイルのときは一番下に追加されます）。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻るボタン**を押します。入力中に戻るとプログラムした内容は削除されます。
- プログラムを削除するには、削除したいプログラムステップを選んで、**クリアボタン**を押します。

5 再生する

- ▶ **再生ボタン**を押します。
- すでにプログラムされている内容を再生するには、プログラム画面から [プログラム再生の開始] を選んで、**決定ボタン**を押します。
- 通常の再生に戻すには、プログラム画面から [プログラム再生の解除] を選んで、**決定ボタン**を押します。プログラムした内容は残ります。
- プログラムした内容をすべて消去するには、プログラム画面から [プログラムの全消去] を選んで、**決定ボタン**を押します。

メモ

- プログラムした内容を繰り返し再生できます。プログラム再生中にプレイモード画面の [リピート] から [プログラムリピート] を選びます（**P.29**）。
- プログラムした内容は順不同に再生できません（プログラム再生中はランダム再生できません）。

番号または時間を指定して再生する（サーチモード）

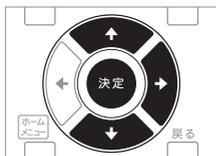
DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD
SACD CD(R/RW) DivX® WMV

タイトル、チャプター、トラック、またはファイルの番号や時間を指定して再生できます。

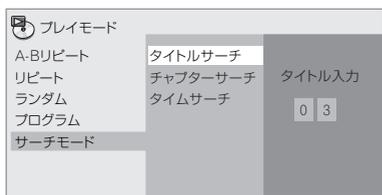
1 プレイモード画面を表示する

- 再生中に**プレイモードボタン**を押します。

2 [サーチモード] を選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで、**決定ボタン**または **➡ ボタン**を押します。

3 サーチモードの種類を選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例

- サーチモードの種類は、ディスクまたはファイルによって異なります。

4 再生したいタイトル、チャプター、トラック、またはフォルダーの番号または時間を入力する

- **数字 (0 ~ 9) ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します（たとえば、1 時間 4 分（64 分 00 秒）を指定するときは、**6**、**4**、**0**、**0** を入力します）。
- 再生が始まります。

メモ

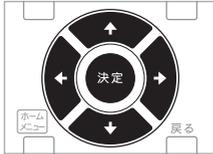
- メニュー画面で指定できる DVD ビデオがあります。
- 静止画が収録されている DVD オーディオでは、静止画の番号を指定できます。
- 動画ファイルは時間だけ指定できます（タイムサーチだけできます）。
- DVD+R/+RW、DVD オーディオ、およびSACDはタイムサーチできません。

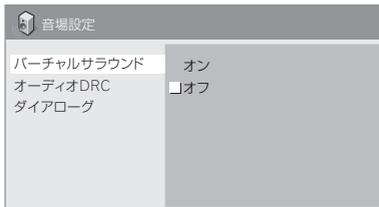
音場を設定する

1 ホームメニューを表示する

- **ホームメニューボタン**を押します。

2 [音場設定] を選ぶ

- **⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 設定を変更する

- **⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

4 変更を確定する

- **ホームメニューボタン**を押します。
- 変更した設定が保存されます。

メモ

- ディスクまたはファイルによっては効果が少ないことあります。
- デジタル音声出力端子（光 / 同軸）および HDMI 出力端子から出力される音声にも効果があります。[1]

音場設定の項目

設定項目（設定値）	
バーチャルサラウンド（オン / **オフ**）	• 2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現できます。 • [オン] に設定しているときは96 kHz以上のリニアPCM音声が 48 kHz に変換されます。 • DVD オーディオ、および SACD には効果がありません。
オーディオ DRC（大/中/小/**オフ**）	• 大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、深夜に映画を見るときに変更します。 • ドルビーデジタル音声にだけ効果があります。 • 接続しているテレビ、AV アンプ、またはスピーカーの音量などによって効果が異なります。切り換えながら最も効果のある設定に変更してください。
ダイアローグ（大/中/小/**オフ**）	セリフの音が小さくて聴き取りにくいときに変更します。

太字＝お買い上げ時の設定

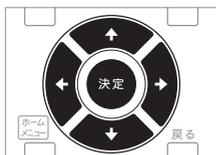
1. [デジタル音声出力] の [デジタル出力] を [オン] に設定してください（**P.35**）。
[DDDigital 出力] を [DDDigital>PCM] に設定してください（**P.35**）。
[DTS 出力] を [DTS>PCM] に設定してください（**P.35**）。
[MPEG 出力] を [MPEG>PCM] に設定してください（**P.35**）。

画質を調整する

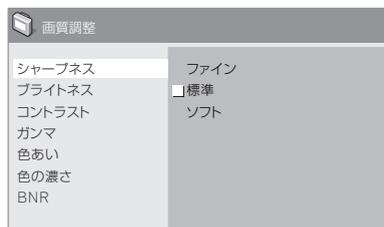
1 ホームメニューを表示する

- **ホームメニューボタン**を押します。

2 [画質調整] を選ぶ

- **↑/↓/←/→ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 設定を変更する

- **↑/↓/←/→ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

例 1

例 2

- 1 つ前の画面に戻るには、**戻るボタン**を押します。

4 変更を確定する

- **ホームメニューボタン**を押します。
- 変更した設定が保存されます。

メモ

- 接続しているテレビ、ディスク、またはファイルによっては効果が少ないことがあります。
- HDMI 出力端子から出力される映像にも効果があります。

画質調整の項目

設定項目 （設定値）	
シャープネス （ファイン / **標準** / ソフト）	画像の鮮明度を調整します。
ブライトネス （－ 20 ～＋ 20[1]）	画面の明るさを調整します。
コントラスト （－ 16 ～＋ 16[1]）	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ガンマ （－ 3 ～＋ 3[1]）	画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい （緑 9 ～赤 9[1]）	緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ （－ 9 ～＋ 9[1]）	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
BNR （オン / **オフ**）	映像のブロックノイズを軽減します。

太字＝お買い上げ時の設定

1. お買い上げ時は 0 に設定されています。

設定を変更する（初期設定）

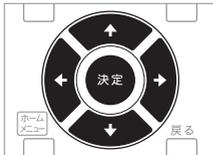
初期設定画面を操作する

再生中は **[初期設定]** を選べません。ディスクを停止してから操作してください。

1 ホームメニューを表示する

・**ホームメニューボタン**を押します。

2 [初期設定] を選ぶ

・⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

3 項目を選んで設定を変更する

・⬆/⬇/⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

メモ

・[HDMI 出力]、[HDMI 画素数] および [HDMI カラー] は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続しているときだけ設定します。
・[デジタル音声出力]、[コンポーネント出力]、[SACD 再生]、および [スピーカー] は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続しているときは設定できません。また、[HDMI 出力]、[HDMI 画素数] および [HDMI カラー] は、自動で設定が変更されます。
・**太字**はお買い上げ時の設定です。

デジタル音声出力

設定項目	設定内容	
HDMI 出力	LPCM（2CH）	マルチチャンネル音声を2chのリニアPCM音声に変換して出力します。接続しているHDMI対応機器がマルチチャンネル音声に対応していないときに選びます。
	LPCM (5.1CH)	5.1ch のリニア PCM 音声で出力します。接続しているHDMI対応機器がマルチチャンネルのリニアPCM音声に対応しているときに選びます。
	自動	接続している HDMI 対応機器が対応している音声（ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニア PCM）を出力します。接続している HDMI 対応機器が対応していない音声は、リニア PCM に変換して出力します。また、SACD の音声もリニア PCM に変換して出力されます。
	自動 (DSD)	SACD の DSD 音声を出力するときに選びます。
	オフ	HDMI 出力端子から音声を出力しません。

・本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルを使って接続しているときだけ設定を変更できます。
・「[HDMI 出力] の設定と出力される音声の種類について」（**P.36**）および「HDMI 出力端子から出力される DVD オーディオ /SACD の音声について」（**P.45**）もあわせてご覧ください。
・自動 (DSD) に設定しているときは、SACD のアナログ音声が出力されません。

設定項目	設定内容	
デジタル出力	**オン**	デジタル音声出力端子から音声を出力します。
	オフ	デジタル音声出力端子から音声を出力しません。

- [デジタル出力] を [オフ] に設定すると、HDMI 出力端子から出力される音声はリニア PCM に変換されます。
- SACD の音声はデジタル音声出力端子から出力されません。
- DVD オーディオのマルチチャンネル音声は、リニア PCM 音声に変換してデジタル音声出力端子から出力します（出力できないディスクもあります）。

DD Digital 出力	**DD Digital**	ドルビーデジタル音声を出力します。接続している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応しているときに選びます。
	DD Digital >PCM	ドルビーデジタル音声をリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している AV アンプがドルビーデジタル音声に対応していないときに選びます。
DTS 出力	**DTS**	DTS 音声を出力します。接続している AV アンプが DTS 音声に対応しているときに選びます。
	DTS>PCM	DTS 音声をリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している AV アンプが DTS 音声に対応していないときに選びます。

接続している AV アンプが DTS 音声に対応していないときは [DTS > PCM]/[オフ] に設定してください。[DTS] に設定するとノイズが発生することがあります。

リニア PCM 出力	**ダウンサンプルオン**	96 kHz 音声を 48 kHz/44.1 kHz 音声に変換して出力します。接続している AV アンプが 96 kHz 音声に対応していないときに選びます。
	ダウンサンプルオフ	96 kHz 音声を出力します。接続している AV アンプが 96 kHz 音声に対応しているときに選びます。

- [ダウンサンプルオフ] に設定されていても、DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz 音声は 96 kHz/88.2 kHz 音声に変換して出力します。
- 著作権保護されている DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz 音声、または 96 kHz/88.2 kHz 音声は 48 kHz/44.1 kHz に変換して出力します。
- DVD オーディオの高音質音声は、本機の音声出力（5.1ch）端子と AV アンプのマルチチャンネル音声入力端子を接続して再生することをお勧めします。

MPEG 出力	MPEG	MPEG 音声を出力します。接続している AV アンプが MPEG 音声に対応しているときに選びます。
	MPEG>PCM	MPEG 音声をリニア PCM 音声に変換して出力します。接続している AV アンプが MPEG 音声に対応していないときに選びます。

[HDMI 出力] の設定と出力される音声の種類について

音声の種類		[HDMI 出力] の設定			
		LPCM （2CH）	**LPCM （5.1CH）**	**自動**	**自動 (DSD)**
DVDビデオ DVD VR	**ドルビーデジタル**	2ch ダウンミックス	5.1ch[1]	ドルビーデジタル[2]	ドルビーデジタル[2]
	ドルビーデジタルカラオケ	左 / 右	5.1ch[1]	ドルビーデジタル[2]	ドルビーデジタル[2]
	リニア PCM	左 / 右	左 / 右	左 / 右	左 / 右
	DTS	2ch ダウンミックス	5.1ch[1]	DTS[2]	DTS[2]
	MPEG	左 / 右	5.1ch[1]	MPEG[2]	MPEG[2]
DVDオーディオ	**（CPPM あり）**[3]	左 / 右または 2ch ダウンミックス[4]	5.1ch[1]	5.1ch[1]	5.1ch[1]
DVDオーディオ	**（CPPM なし）**	左 / 右または 2ch ダウンミックス[4]	5.1ch[1]	5.1ch[1]	5.1ch[1]
SACD[5]		左 / 右	5.1ch[1]	5.1ch[1]	5.1ch （DSD）[1,6]
CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC		左 / 右	左 / 右	左 / 右	左 / 右
DTS CD		左 / 右	5.1ch[1]	DTS[2]	DTS[2]
ビデオCD		左 / 右	左 / 右	左 / 右	左 / 右

1. 接続している HDMI対応機器がマルチチャンネルに対応していないときは、[LPCM（2CH）] に設定したときと同じ音声が出力されます。SACD では、SACD エリアの 2 チャンネル (ステレオ) 音声を出力します。
2. 接続している HDMI 対応機器がドルビーデジタル、DTS、MPEG などの音声に対応していないときは自動でリニア PCM 音声に変換して出力します。
3. CPPM で保護されている DVD オーディオを再生したときに出力される音声については次ページをご覧ください。
4. ディスクが音声のダウンミックスを禁止しているときはフロント左 / 右の音声だけ出力します。
5. 接続している HDMI 対応機器が音声の著作権保護情報を処理できないとき（SACD に対応していないとき）は、SACD の音声は HDMI 出力端子から出力されません。
6. [自動 (DSD)] に設定しているときは、SACD のアナログ音声が出力されません。

映像出力

設定項目	設定内容	
テレビ画面	**4:3（レターボックス）**	テレビ画面の上下に黒い帯を付けて、16:9 の映像を 4:3 の画面で見るときに選びます。
	4:3（パンスキャン）	16:9 の映像の左右を切り取って、4:3 の画面全体に映像を映して見るときに選びます。
	16:9（ワイド）	ワイド（16:9）テレビと接続しているときに選びます。
	16:9（シュリンク）	ハイビジョン対応テレビ（16:9）で 4:3 の映像を見るときに選びます。テレビ画面の左右に黒い帯を付けて正しく表示します。本機とテレビを HDMI ケーブルを使って接続して、[HDMI 画素数] を [1920x1080p]、[1920x1080i]、または [1280x720p] に設定しているときだけ選べます。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像 4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(シュリンク)	16:9の映像 4:3の映像

ディスクが画面の縦横比の切り換えを許可しているときだけ設定が反映されます。ディスクのジャケットなどで確認してください。

設定項目	設定内容	
コンポーネント出力	プログレッシブ	コンポーネント映像出力端子または D1/D2 映像出力端子に、プログレッシブ映像信号に対応しているテレビまたはプロジェクターを接続しているときに選びます。本体表示窓の「PRGSVE」が点灯します。
	インターレース	コンポーネント映像出力端子または D1/D2映像出力端子に、プログレッシブ映像信号に対応していないテレビまたはプロジェクターを接続しているときに選びます。

- [プログレッシブ] を選んで**決定ボタン**を押すと確認画面が表示されます。設定を変更するときは、[はい] を選んで**決定ボタン**を押します。変更しないときは、[いいえ] を選んで**決定ボタン**を押します。
- [プログレッシブ] と [インターレース] を切り換えるときに映像が乱れることがあります。
- [HDMI 画素数] を [720x480i] に設定しているときは、[インターレース] に設定されます。
- [プログレッシブ] に設定したあとに映像が映らなくなったときは [インターレース] に戻してください。戻す方法については「[コンポーネント出力] および [HDMI 画素数] の設定をお買い上げ時の状態に戻す」をご覧ください（**P.38**）。
- **本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について**
  現在一部のプログレッシブ対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は、本機の出力をインターレースに切り換えてください。また、当社のプログレッシブ対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は、当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください（**裏表紙**）。

設定項目	設定内容	
HDMI 画素数	720x480i	720x480 ピクセルのインターレース映像を出力します。
	720x480p	720x480 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。
	1280x720p	1280x720 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。
	1920x1080i	1920x1080 ピクセルのインターレース映像を出力します。
	1920x1080p	1920x1080 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。

- 設定を変更すると映像が乱れるまたは映像が映るまでに時間がかかることがあります。
- 設定を変更すると確認画面が表示されます。映像が正しく映っているときは、[はい] を選んで**決定ボタン**を押します。正しく映っていないときは、[いいえ] を選んで**決定ボタン**を押します。
- 設定を変更したあとに映像が正しく映らないときは [720x480p] に戻してください。「[コンポーネント出力] および [HDMI 画素数] の設定をお買い上げ時の状態に戻す」をご覧ください（**下記**）。

設定項目	設定内容	
HDMI カラー	RGB フルレンジ	色が濃くなります。黒が沈んで見えるときに選びます。
	RGB	色が薄くなります。黒が浮いて見えるときに選びます。
	色差	HDMI 対応テレビと接続しているときに選びます。色差（8 bit）フォーマットで伝送されます。

本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルを使って接続しているときだけ設定を変更できます。

[コンポーネント出力] および [HDMI 画素数] の設定をお買い上げ時に戻す

1 電源をオフする

- ⏻ **電源ボタン**を押します。

2 ⏮ ボタンを押しながら ⏻ STANDBY/ON ボタンを押す

- 本体前面部のボタンで操作します。
- 電源がオンします。

言語

- 選んだ言語に変更されないディスクがあります。
- 言語をメニュー画面で変更するディスクもあります。メニュー画面で言語を変更してください。

設定項目	設定内容	
音声言語	**日本語**	DVD ビデオの音声を日本語で聞くときに選びます。
	英語	DVD ビデオの音声を英語で聞くときに選びます。
	その他の言語	136 言語から選びます。「言語コード表」を見ながら操作します（**P.54**）。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。
字幕言語	**日本語**	DVD ビデオの字幕を日本語で表示するときに選びます。
	英語	DVD ビデオの字幕を英語で表示するときに選びます。
	その他の言語	136 言語から選びます。「言語コード表」を見ながら操作します（**P.54**）。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。

設定項目	設定内容	
DVD メニュー言語	**字幕言語に連動**	DVD ビデオのメニュー画面を [字幕言語] で選んでいる言語で表示するときに選びます。
	日本語	DVD ビデオのメニュー画面を日本語で表示するときに選びます。
	英語	DVD ビデオのメニュー画面を英語で表示するときに選びます。
	その他の言語	136 言語から選びます。「言語コード表」を見ながら操作します（**P.54**）。DVD ビデオに収録されていない言語を選んだときは、収録されているいずれかの言語に設定されます。
字幕表示	**オン**	字幕を表示するときに選びます。
	オフ	字幕を表示しないときに選びます。ただし、字幕を強制的に表示するディスクもあります。

[その他の言語] を選んだとき

「言語コード表」（**P.54**）の 136 言語から選びます。DVD ビデオに収録されていない言語に設定したときは、収録されている言語で表示されます。

1 [その他の言語] を選ぶ

- **⬅/➡ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 [言語表] または [コード] を選ぶ

- **⬅/➡ ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。
- コード番号しか表示されない言語があります。詳しくは「言語コード表」（**P.54**）をご覧ください。

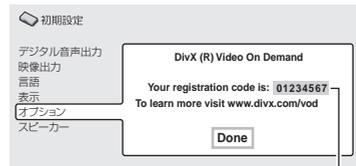
3 言語コードを選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**または**数字 (0 ～ 9) ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

表示

設定項目	設定内容	
画面表示言語	**日本語**	操作表示（再生、停止など）を日本語で表示するときに選びます。
	English	操作表示（再生、停止など）を英語で表示するときに選びます。
アングルマーク表示	**オン**	テレビ画面に🎥マークを表示するときに選びます。
	オフ	テレビ画面に🎥マークを表示しないときに選びます。

オプション

設定項目	設定内容	
視聴制限	暗証番号	視聴が制限されているディスクを再生するために必要な暗証番号を登録（変更）します。詳しくは「暗証番号を登録（変更）する」をご覧ください（**P.42**）。
	レベル変更	本機の視聴制限のレベルを変更します。詳しくは「視聴制限のレベルを変更する」をご覧ください（**P.41**）。
	国 / 地域コード	国 / 地域を変更します。「国 / 地域コード表」を見ながら操作します（**P.54**）。
DVD 再生方式	**DVD オーディオ**	オーディオゾーンを再生します。
	DVD ビデオ	ビデオゾーンを再生します。
DVD オーディオには、高音質の音楽などが収録されているオーディオゾーンと、映像などが収録されているビデオゾーンに分かれているディスクがあります。 [DVD ビデオ] に設定されていても、ディスクトレイを開ける、または電源をオフすると [DVD オーディオ] に戻ります。		
SACD 再生	**2ch エリア**	2 チャンネルエリアを再生します。
	マルチ ch エリア	マルチチャンネルエリアを再生します。
	CD エリア	CD 層を再生します。
SACD は 2 チャンネル音声とマルチチャンネル音声が別のエリアに収録されています。 ハイブリット SACD は SACD 層と CD 層の 2 層構造です。		
DTS ダウンミックス	**STEREO**	DTS のマルチチャンネル音声をステレオ音声に変換して出力します。
	Lt/Rt	DTS のマルチチャンネル音声を 2ch のサラウンド音声に変換して出力します。
DivX VOD	Display	DivX VOD ファイルを再生するときに必要な本機の登録コードを表示します。

- DivX VOD ファイルは DRM で保護されています。登録されている機器以外では再生できません。
- DivX VOD ファイルに登録コードが承認されていないときは再生できません。再生するとテレビ画面に「Authorization Error」と表示されます。
- 視聴できる回数が限られている DivX VOD ファイルがあります。再生すると残数がテレビ画面に表示されます。残数が 0 回のときは「Rental Expired」と表示されます。

暗証番号を登録（変更）する

視聴制限のレベルを設けた DVD ビデオがあります (ディスクジャケットなどで確認できます)。本機のレベルを DVD ビデオよりも小さく設定すると、視聴を制限できます。

1 [暗証番号] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 暗証番号を入力する

- **数字 (0 ～ 9) ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。
- 暗証番号を変更するときは、すでに登録している暗証番号を入力してから新しい暗証番号を入力します。

メモ

- 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、本機の設定をお買い上げ時の設定に戻してから再度暗証番号を登録してください。
- 視聴制限されている場面を飛ばして再生する DVD ビデオがあります。
- 再生中に暗証番号を入力する画面が表示される DVD ビデオがあります。再生を続けるときは暗証番号を入力してください。

視聴制限のレベルを変更する

1 [レベル変更] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 暗証番号を入力する

- **数字 (0 ～ 9) ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

3 レベルを変更する

- ⬅/➡ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

視聴制限の国 / 地域コードを変更する

「国 / 地域コード表」を見ながら操作します（**P.54**）。

1 [国コード] を選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

2 暗証番号を入力する

- **数字 (0 ～ 9) ボタン**で入力して、**決定ボタン**を押します。

3 国コードを選ぶ

- ⬆/⬇ **ボタン**で選んで、**決定ボタン**を押します。

スピーカー

- 本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続しているときは設定を変更できません。
- 設定を変更するときは [HDMI 出力] を [オフ] に設定してください。

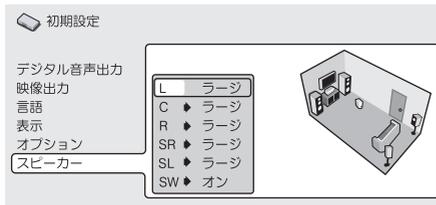
<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">設定内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">音声出力モード</td><td>2 チャンネル</td><td>テレビのアナログ 2ch（ステレオ）音声入力端子と本機の音声出力（2ch）端子を接続したときに選びます。</td></tr>
<tr><td>5.1 チャンネル</td><td>AV アンプなどのアナログ 5.1ch 音声入力端子と本機の音声出力（5.1ch）端子と接続したときに選びます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">• [2 チャンネル] に設定しているとき、ドルビーデジタル、DTS、または MPEG のマルチチャンネル音声は 2 チャンネル音声に変換して出力します。
• [5.1 チャンネル] に設定されているときは、DVD オーディオの音声をデジタル音声出力端子から出力できません。
• HDMI 対応機器と接続しているときは、本機の音声出力（5.1ch）端子からマルチチャンネル音声が出力されないことがあります。このときは[HDMI出力]を[オフ]に設定してください(P.34)。</td></tr>
<tr><td>スピーカー距離補正</td><td>開始</td><td>視聴位置からスピーカーまでの距離を設定します。詳しくは「スピーカーまでの距離を設定する」をご覧ください（P.43）。</td></tr>
<tr><td>スピーカー設置</td><td>開始</td><td>スピーカーのサイズを設定します。詳しくは「スピーカーのサイズを変更する」をご覧ください（下記）。</td></tr>
</table>

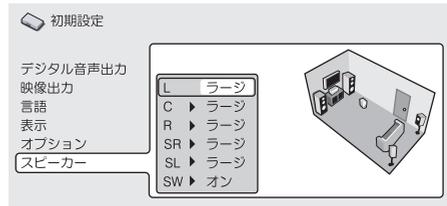
スピーカーのサイズを変更する

1 [スピーカー設置] を選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

2 スピーカーを選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで **➡ ボタン**を押します。

3 スピーカーの大きさを選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選びます。

- **ラージ**
  大きいスピーカーに接続しているときに選びます(目安はコーンサイズ12 cm以上)。
- **スモール**
  小さいスピーカーに接続しているときに選びます（目安はコーンサイズ 12 cm 未満)。
- **オフ**
  スピーカーを接続していないときに選びます。

- **オン**
  サブウーファーを接続しているときに選びます（[SW（サブウーファー）] では [オン] または [オフ] を設定します）。

4 各スピーカーの設定をする

- 手順 2 および 3 を繰り返します。

5 [スピーカー設置] を終了する

- **決定ボタン**を押します。
- [スピーカー設置] の画面が消えます。

メモ

- [SW] を [オン] に設定しているときは LFE（超低音の効果音）がサブウーファーから出力されます。
- [L（フロント左）] と [R（フロント右）] スピーカーを [スモール] に設定すると [SR（サラウンド右）]、[SL（サラウンド左）]、および [C（センター）] スピーカーの大きさは自動で [スモール] に設定されます。また、[SW] は [オン] に設定されます。

スピーカーまでの距離を設定する

1 [スピーカー距離補正] を選ぶ

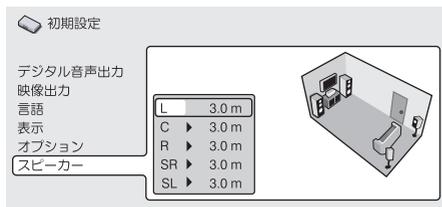
- **⬆/⬇ ボタン**で選んで**決定ボタン**を押します。

2 スピーカーを選ぶ

- **⬆/⬇ ボタン**で選んで **➡ ボタン**を押します。

3 スピーカーの距離を設定する

- **⬆/⬇ ボタン**で設定します。

- 設定できる範囲は下記のとおりです。
  L：0.3 m 〜 9 m
  C：L や R の距離から－ 2.1 m 〜 0 m
  R：0.3 m 〜 9 m
  SR：L や R の距離から－ 6.0 m 〜 0 m
  SL：L や R の距離から－ 6.0 m 〜 0 m

4 各スピーカーの距離を設定する

- 手順 2 および 3 を繰り返します。

5 [スピーカー距離補正] を終了する

- **決定ボタン**を押します。
- [スピーカー距離補正] の画面が消えます。

メモ

- マルチチャンネル再生するときは、すべてのスピーカーのサイズと視聴位置からの距離が同じであることが理想です。これらが異なるときは各スピーカーにディレイタイム（遅延時間）を設定して理想の視聴空間を実現します。
- サブウーファーの距離は設定できません。
- DVD ビデオまたは MPEG 音声を再生しているときの [C]、[SR]、および [SL] の距離補正の範囲は －0.9 m〜0 m です。
- SACD を再生しているときは [スピーカー距離補正] の設定が無効です。

音声出力について

音声の種類		[音声出力モード] の設定	音声出力（5.1ch）端子 フロント左 / 右	音声出力（5.1ch）端子 センター サラウンド左 / 右 サブウーファー	デジタル音声出力端子 リニア PCM に変換する	デジタル音声出力端子 リニア PCM に変換しない
DVDビデオ	ドルビーデジタル	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	ドルビーデジタル
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタルカラオケ	5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	ドルビーデジタル
		2 チャンネル				
	リニア PCM	5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				
	DTS	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	DTS
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	DTS
	MPEG	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	左 / 右	MPEG
		2 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	MPEG
DVDオーディオ		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	×	×
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス[2]	×	×	×
DVD VR		5.1 チャンネル	左 / 右[3]	×	左 / 右	ドルビーデジタル MPEG リニア PCM
		2 チャンネル				
SACD		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	×	×
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	×	×
CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC		5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				
DTS CD		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	DTS
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	DTS
ビデオCD		5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				

×＝音声が出力されません。

1. 超低音の効果音
2. ダウンミックスを禁止している DVD オーディオがあります。このときは [音声出力モード] (**P.42**) を [2 チャンネル] に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
3. [音声出力モード] が [5.1 チャンネル] のときは、モノラル音声はセンター出力だけとなります。

- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

HDMI 出力端子から出力される DVD オーディオ /SACD の音声

接続している HDMI 対応機器によって出力される音声は異なります。

接続している HDMI 対応機器が対応しているディスク / 音声[1]		製品例	DVD オーディオまたは SACD に記録されている音声		
			2ch 音声	**5.1ch 音声**	**自動 (DSD)**
SACD	○	SC-LX90 VSA-LX70 VSA-AX1AH	2ch 音声を出力します。	5.1ch 音声を出力します。[2]	DSD 5.1ch/2ch 音声を出力します。
DVDオーディオ	○				
5.1ch 音声	○				
2ch 音声	○				
SACD	×	VSA-AX4AVi VSA-AX2AV	2ch 音声を出力します。	5.1ch 音声を出力します。[2]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	○				
5.1ch 音声	○				
2ch 音声	○				
SACD	×	PDP-6010HD PDP-5010HD PDP-508HX PDP-428HX	2ch 音声を出力します。	フロント左 / 右だけまたは 2ch 音声にダウンミックスして出力します。[3]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	○				
5.1ch 音声	×				
2ch 音声	○				
SACD	×	PDP-505HDL PDP-505HDS PDP-435SX	音声は出力されません。[4]	音声は出力されません。[4]	音声は出力されません。
DVDオーディオ	×				
5.1ch 音声	×				
2ch 音声	×				

1. 接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオ、SACD、5.1ch 音声、または SACD の DSD 音声に対応しているか確認してから [HDMI 出力]（**P.34**）の設定を変更してください。接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオまたは SACD に対応していない（音声の著作権情報を処理できない）ときは、DVD オーディオまたは SACD の音声が HDMI 出力端子から出力されません。
2. [HDMI 出力]（**P.34**）を [LPCM（2CH）] に設定しているときは、DVD オーディオの 5.1ch 音声を 2ch 音声にダウンミックスして出力します。ただし、ダウンミックスを禁止されているときはフロント左 / 右だけ出力します。
   [SACD 再生]（**P.40**）を [マルチ ch エリア] 設定しているときは、SACD の 5.1ch 音声を 2ch 音声にダウンミックスして出力します。それ以外のときは 2ch 音声を出力します。
   また、[HDMI 画素数] を [720 x 480i] または [720 x 480p] に設定しているときは、接続している HDMI 対応機器によって 2ch 音声で出力します。
3. ダウンミックスが禁止されているときはフロント左 / 右だけ出力します。
4. 本体表示窓に「CPPM」と表示されます（著作権保護（CPPM）されている DVD オーディオの音声は HDMI 出力端子から出力できません）。著作権保護されていないときは 2ch 音声を出力します。

接続している機器が対応しているサンプリング周波数（fs）による DVD オーディオ出力例

接続している機器が対応しているサンプリング周波数（最大値）	DVD オーディオに記録されている音声		
	48 kHz/44.1 kHz	**96 kHz/88.2 kHz**	**192 kHz/176.4 kHz**
48 kfs	48 kHz/44.1 kHz	48 kHz/44.1 kHz[1]	48 kHz/44.1 kHz[1]
96 kfs	48 kHz/44.1 kHz	96 kHz/88.2 kHz	48 kHz/44.1 kHz[1]
192 kfs	48 kHz/44.1 kHz	96 kHz/88.2 kHz	192 kHz/176.4 kHz

1. 対応しているサンプリング周波数に変換して出力します。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 本機の電源をオフにする

2 ■ を押しながら ⏻ STANDBY/ON を押す

・ 本体前面部のボタンで操作します。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器（テレビなど）もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは「保障とアフターサービス」（**P.53**）をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。
- 弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。**http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html**

一般

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているときに電源コードを強制的に抜いていませんか。	本機の電源が入っているとき強制的に電源コードを抜いたり、停電などが起きると設定した内容が消えてしまうことがあります。本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**を押して、本体表示窓の「-OFF-」表示が消えてから抜いてください。他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときは、接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードはなるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。
DVD と CD で音量差を感じる。		ディスクの記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。
リモコンで操作できない。	本機から離れた場所で操作していませんか。	リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。
	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていませんか。	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。
	電池がなくなっていませんか。	電池を交換してください（**P.6**）。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• ディスクが再生できない。 • ディスクトレイが自動で開く。	ディスクに傷がついていませんか。	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください（**P.57**）。
	ディスクがディスクトレイが正しくセットされていますか。	• 印刷面を上にセットしてください。 • ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか。	本機で再生できるリージョンナンバーは「2（2 を含む）」または「ALL」です。
	湿気の多い場所に設置していませんか。	内部が結露している可能性があります。結露が消えるまでお待ちください。なお、エアコンなどの近くに設置しないでください（**P.56**）。
	違法に複製された DVD オーディオを再生していませんか。	違法に複製された DVD オーディオを再生すると、途中で停止してしまうことがあります。
電源が自動でオンまたはオフする。		停止中に 30 分以上何も操作しないと、電源が自動でオフします（オートパワーオフ機能）。
映像が映らない。	ビデオコードが正しく接続されていますか。	コードを奥までしっかり差し込んでください。
	ビデオコードが断線していませんか。	断線していたときは新しいコードと交換してください。
	接続しているテレビ、または AV アンプの入力は正しいですか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
• 映像が伸びている。 • 縦横比が切り換えられない。	接続しているテレビの縦横比は正しく設定されていますか。	テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。
	[テレビ画面]は正しく設定されていますか。	[テレビ画面] を正しく設定してください（**P.37**）。
	S 映像ケーブルでテレビと接続していませんか。	S2 映像出力に対応していないテレビと S 映像ケーブルで接続すると、映像が正しく映らないことがあります。このときは S 映像ケーブル以外で接続してください。
• 再生中に映像が乱れる。 • 映像が暗い。		• 本機はマクロビジョンのコピープロテクトに対応しています。テレビによっては、コピー禁止信号が記録されているディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。 • ビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、本機のアナログコピープロテクトによってビデオデッキで再生した映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
• 音声が出ない。 • 音声が歪む。	• 一時停止していませんか。 • コマ送り / コマ戻し再生していませんか。 • スロー再生していませんか。	一時停止、コマ送り / コマ戻し、またはスロー再生中は音声が出力されません。
	接続している機器（AV アンプなど）は正しく設定されていますか。	接続している機器の取扱説明書をご覧になり、音量、入力、およびスピーカーの設定などを確認してください。
	ディスクに傷がついていませんか。	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか。	ディスクをクリーニングしてください（**P.57**）。
	オーディオコードが正しく接続されていますか。	コードを奥までしっかり差し込んでください。
	オーディオコードが断線していませんか。	断線していたときは新しいコードと交換してください。
	他機器（AV アンプなど）と正しく接続されていますか。	• 他機器の音声出力端子などに接続していないか確認してください。 • AV アンプの PHONO 入力端子などに接続していないか確認してください。
	デジタル音声出力（光 / 同軸）端子に他機器（AV アンプなど）を接続していませんか。	• デジタル音声出力（光 / 同軸）端子を接続しているときは [デジタル出力] を [オン] に設定してください（**P.35**）。 • 接続している AV アンプなどの取扱説明書をご覧になり、対応している音声を確認してください。 • [デジタル音声出力] を AV アンプなどが対応している音声に合わせて設定してください（**P.34**）。
デジタル音声出力（光 / 同軸）端子からデジタル音声が出力されない。	[デジタル出力] は [オン] に設定されていますか。	• [デジタル出力]を[オン]に設定してください（**P.35**）。
	DVD オーディオを再生していませんか。	• デジタル音声が出力されない DVD オーディオがあります。 • DVDオーディオのマルチチャンネル音声は、デジタル音声出力（光 / 同軸）端子から出力されません（ドルビーデジタル音声、または DTS 音声は出力されます）。AV アンプなどを音声出力（5.1ch）端子に接続してください。
	SACD を再生していませんか。	SACD のデジタル音声は、HDMI に対応している AV アンプと接続しているときだけ出力されます。

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
マルチチャンネル音声が出力されない。	接続している AV アンプなどの音声出力は正しく設定されていますか。	• 接続している AV アンプなどの取扱説明書をご覧になり、音声出力の設定を確認してください。 • メニュー画面または**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネル音声に切り換えてください。
	[デジタル音声出力] が接続している AV アンプなどが対応している音声に設定されていますか。	• 接続している AV アンプの取扱説明書をご覧になり、対応している音声を確認してください。 • [デジタル音声出力] を AV アンプなどが対応している音声に合わせて設定してください（**P.34**）。
	[スピーカー] が正しく設定されていますか。	• AV アンプなどを音声出力（5.1ch）端子に接続しているときは、[音声出力モード] を [5.1 チャンネル] に設定してください。 • [スピーカー距離補正] および [スピーカー設置]を正しく設定してください。
	SACD を再生していませんか。	SACD を再生しているときは [SACD 再生] を [マルチ ch エリア] に設定してください。
DTS 音声が出力されない。	正しく接続されていますか。	AV アンプなどをデジタル音声出力（光 / 同軸）端子に正しく接続してください。
	接続している AV アンプなどがDTS音声に対応していますか。	接続している AV アンプなどが DTS 音声に対応していないときは [DTS 出力] を [DTS ＞ PCM] に設定してください（**P.35**）。
	接続している AV アンプなどの音声出力は正しく設定されていますか。	接続している AV アンプなどが DTS 音声に対応しているときは、AV アンプなどの音声出力を DTS 音声が出力できる設定に変更してください。
デジタル音声出力（光 / 同軸）端子から 192 kHz/176.4 kHz のデジタル音声が出力されない。		• デジタル音声出力（光 / 同軸）端子からは、DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz のデジタル音声を出力できません。96 kHz/88.2 kHz、または 48 kHz/44.1 kHz に変換して出力します。 • ディスクによってはデジタル音声出力（光 / 同軸）端子からデジタル音声が出力されないことがあります。
デジタル音声出力（光 / 同軸）端子から 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声が出力されない。	[リニア PCM 出力] が [ダウンサンプルオフ] に設定されていませんか。	[リニア PCM 出力] を [ダウンサンプルオン] に設定してください。
	著作権保護されているディスクを再生していませんか。	著作権が保護されているディスクの 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声は出力できません。

HDMI 対応機器と接続しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
HDMIインジケーターが点灯しない。	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器を接続すると映像が正しく映らないことがあります。
	接続している HDMI 対応機器の入力は正しいですか。	HDMI 対応機器の取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
映像が映らない。	解像度が正しく設定されていますか。	• 接続している機器に合わせて [HDMI 画素数] を設定してください（**P.38**）。 • [HDMI 画素数] をお買い上げ時の設定（[720x480p]）に戻してください（**P.38**）。
	HDMI ケーブルが正しく接続されていますか。	• ケーブルは奥までしっかり差し込んでください。 • ケーブルによっては 1080 p の映像が出力されないことがあります。
	HDMI ケーブルが断線していませんか。	断線していたときは新しいケーブルと交換してください。
	DVI 機器を接続していませんか。	DVI 機器を接続すると映像が正しく映らないことがあります。
音声が出力されない。	[HDMI 出力] が正しく設定されていますか。	[HDMI 出力] を [LPCM（2ch）]、[LPCM（5.1ch）]、または [自動] に設定してください（**P.34**）。
	DVD オーディオを再生していませんか。	• 接続している機器が DVD オーディオに対応していないときは、コピー禁止信号が記録されている DVD オーディオの音声は出力されません。
マルチチャンネル音声が出力されない。	[HDMI 出力] が正しく設定されていますか。	[HDMI 出力] を [自動] または [LPCM（5.1CH）] に設定してください（**P.34**）。
	SACD を再生していませんか。	SACD を再生しているときは [SACD 再生] を [マルチ ch エリア] に設定してください。
テレビ画面の色が正しく映らない。	[HDMI カラー] が正しく設定されていますか。	[HDMI カラー] の設定を変更してください（**P.38**）。
	接続しているテレビの入力は正しく設定されていますか。	テレビの取扱説明書をご覧になり、正しい入力に切り換えてください。
SACD の再生が停止する。		SACD の再生中に下記の操作を行うと、再生を停止することがあります。 • HDMI ケーブルを抜き差しする。 • 接続している機器の電源をオン / オフする。 • 入力を切り換える。

USB 機器を接続しているとき

こんなときは	ここを確認してください	対応のしかた
USB 機器を認識しない。	USB 機器が正しく接続されていますか。	奥までしっかり差し込んでください。
	USB ハブを経由して接続していませんか。	USB ハブには対応していません。USB 機器は直接接続してください。
	本機が対応している USB 機器ですか。	• USBマスストレージクラスの機器にだけ対応しています。 • 携帯フラッシュメモリーおよびデジタルオーディオ再生機器（FAT16/FAT32）に対応しています。
		電源をオンし直してください。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護（DRM）されていませんか。	著作権保護されているファイルは再生できません。
フォルダー名またはファイル名が、正しく表示されない。	フォルダー名またはファイル名に日本語が含まれていませんか。	日本語は表示できません。
USB 機器の認識に時間がかかる。	USB 機器の容量はどれくらいですか。	容量によっては認識に時間がかかります。容量が大きいときは数分かかることもあります。
USB 機器に電源が供給されない。	USB 機器の消費電力はどれくらいですか。	消費電力が大きいと電源が供給されません（本体表示窓に「USB ERR」と表示されます）。このときは下記の操作を行ってください。 • 電源をオンし直してください。 • 電源をオフにして、USB 機器を接続し直してください。 • **DVD/USB ボタン**を押して入力を DVD モードに戻してから、もう一度 USB モードに切り換えてください（入力をDVDモードに戻すと本体表示窓に「LOADING」と表示され、ディスクを認識します。入力を USB に戻すと本体表示窓に「USB MODE」と表示されます）。 • USB 機器に AC アダプターが付属しているときは、AC アダプターを接続してお使いください。
USB 機器に音楽 CD のトラックが録音できない。	USB 機器の空き容量は足りていますか。	USB 機器の空き容量が足りないときは録音できません。
	USB 機器のフォルダ内にファイルが 300 個以上ありませんか。	USB機器にフォルダが300個以上あるときは録音できません。
	USB機器にPIONEERフォルダがすでに99個ありませんか。	USB 機器に PIONEER フォルダがすでに 99 個あるときは録音できません。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙に記載の修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご連絡ください。
本品は持ち込み修理対応製品です。
故障して修理をお受けになる場合は、パイオニアサービス窓口またはお買い求めの販売店様に製品と保証書を持参してお申し付けください。
なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代は、有料とさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 :DVD プレーヤー
- 型番：DV-610AV
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

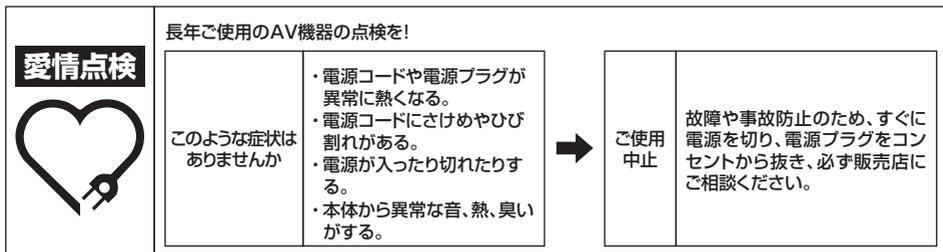
保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

長年ご使用のAV機器の点検を!

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

言語コード表

言語名（言語コード）, **入力コード**

Japanese （ja） , **1001**
English （en） , **0514**
French （fr） , **0618**
German （de） , **0405**
Italian （it） , **0920**
Spanish （es） , **0519**
Chinese （zh） , **2608**
Dutch （nl） , **1412**
Portuguese （pt） , **1620**
Swedish （sv） , **1922**
Russian （ru） , **1821**
Korean （ko） , **1115**
Greek （el） , **0512**
Afar （aa） , **0101**
Abkhazian （ab） , **0102**
Afrikaans （af） , **0106**
Amharic （am） , **0113**
Arabic （ar） , **0118**
Assamese （as） , **0119**
Aymara （ay） , **0125**
Azerbaijani （az） , **0126**
Bashkir （ba） , **0201**
Byelorussian （be） , **0205**
Bulgarian （bg） , **0207**
Bihari （bh） , **0208**
Bislama （bi） , **0209**
Bengali （bn） , **0214**
Tibetan （bo） , **0215**
Breton （br） , **0218**
Catalan （ca） , **0301**
Corsican （co） , **0315**
Czech （cs） , **0319**
Welsh （cy） , **0325**
Danish （da） , **0401**
Bhutani （dz） , **0426**
Esperanto （eo） , **0515**
Estonian （et） , **0520**
Basque （eu） , **0521**
Persian （fa） , **0601**
Finnish （fi） , **0609**
Fiji （fj） , **0610**
Faroese （fo） , **0615**
Frisian （fy） , **0625**
Irish （ga） , **0701**
Scots-Gaelic （gd） , **0704**
Galician （gl） , **0712**
Guarani （gn） , **0714**
Gujarati （gu） , **0721**
Hausa （ha） , **0801**
Hindi （hi） , **0809**
Croatian （hr） , **0818**
Hungarian （hu） , **0821**
Armenian （hy） , **0825**
Interlingua （ia） , **0901**
Interlingue （ie） , **0905**
Inupiak （ik） , **0911**
Indonesian （in） , **0914**
Icelandic （is） , **0919**
Hebrew （iw） , **0923**
Yiddish （ji） , **1009**
Javanese （jw） , **1023**
Georgian （ka） , **1101**
Kazakh （kk） , **1111**
Greenlandic （kl） , **1112**
Cambodian （km） , **1113**
Kannada （kn） , **1114**
Kashmiri （ks） , **1119**
Kurdish （ku） , **1121**
Kirghiz （ky） , **1125**
Latin （la） , **1201**
Lingala （ln） , **1214**
Laothian （lo） , **1215**
Lithuanian （lt） , **1220**
Latvian （lv） , **1222**
Malagasy （mg） , **1307**
Maori （mi） , **1309**
Macedonian （mk） , **1311**
Malayalam （ml） , **1312**
Mongolian （mn） , **1314**
Moldavian （mo） , **1315**
Marathi （mr） , **1318**
Malay （ms） , **1319**
Maltese （mt） , **1320**
Burmese （my） , **1325**
Nauru （na） , **1401**
Nepali （ne） , **1405**
Norwegian （no） , **1415**
Occitan （oc） , **1503**
Oromo （om） , **1513**
Oriya （or） , **1518**
Panjabi （pa） , **1601**
Polish （pl） , **1612**
Pashto, Pushto （ps） , **1619**
Quechua （qu） , **1721**
Rhaeto-Romance （rm） , **1813**
Kirundi （rn） , **1814**
Romanian （ro） , **1815**
Kinyarwanda （rw） , **1823**
Sanskrit （sa） , **1901**
Sindhi （sd） , **1904**
Sangho （sg） , **1907**
Serbo-Croatian （sh） , **1908**
Sinhalese （si） , **1909**
Slovak （sk） , **1911**
Slovenian （sl） , **1912**
Samoan （sm） , **1913**
Shona （sn） , **1914**
Somali （so） , **1915**
Albanian （sq） , **1917**
Serbian （sr） , **1918**
Siswati （ss） , **1919**
Sesotho （st） , **1920**
Sundanese （su） , **1921**
Swahili （sw） , **1923**
Tamil （ta） , **2001**
Telugu （te） , **2005**
Tajik （tg） , **2007**
Thai （th） , **2008**
Tigrinya （ti） , **2009**
Turkmen （tk） , **2011**
Tagalog （tl） , **2012**
Setswana （tn） , **2014**
Tonga （to） , **2015**
Turkish （tr） , **2018**
Tsonga （ts） , **2019**
Tatar （tt） , **2020**
Twi （tw） , **2023**
Ukrainian （uk） , **2111**
Urdu （ur） , **2118**
Uzbek （uz） , **2126**
Vietnamese （vi） , **2209**
Volapük （vo） , **2215**
Wolof （wo） , **2315**
Xhosa （xh） , **2408**
Yoruba （yo） , **2515**
Zulu （zu） , **2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , **入力コード , および国 / 地域コード**

アメリカ , **2119, us**
アルゼンチン , **0118, ar**
イギリス , **0702, gb**
イタリア , **0920, it**
インド , **0914, in**
インドネシア , **0904, id**
オーストラリア , **0121, au**
オーストリア , **0120, at**
オランダ , **1412, nl**
カナダ , **0301, ca**
韓国 , **1118, kr**
シンガポール , **1907, sg**
スイス , **0308, ch**
スウェーデン , **1905, se**
スペイン , **0519, es**
タイ , **2008, th**
台湾 , **2023, tw**
中国 , **0314, cn**
チリ , **0312, cl**
デンマーク , **0411, dk**
ドイツ , **0405, de**
日本 , **1016, jp**
ニュージーランド , **1426, nz**
ノルウェー , **1415, no**
パキスタン , **1611, pk**
フィリピン , **1608, ph**
フィンランド , **0609, fi**
メキシコ , **1324, mx**
ロシア , **1821, ru**
ブラジル , **0218, br**
フランス , **0618, fr**
ベルギー , **0205, be**
ポルトガル , **1620, pt**
香港 , **0811, hk**
マレーシア , **1325, my**

仕様

電源 . . . . AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力. . . . . 8 W
待機時消費電力 . . . . 0.7 W
本体質量. . . . . .1.8 kg
外形寸法
. . . . 420 mm x 49.5 mm x 215.5 mm
（幅）x（高さ）x（奥行）
許容動作温度 . . . . +5 ℃ ～ +35 ℃
許容動作湿度
. . . . .5 %～ 85 %（結露のないこと）

S2 映像出力

Y 出力レベル . . . . .1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル . . . . .286 mVp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . .S 端子

映像出力

出力レベル . . . . .1 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . RCA 端子

コンポーネント映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）

Y 出力レベル . . . . .1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
. . . . 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . RCA 端子

D1/D2 映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）

Y 出力レベル . . . . .1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
. . . . 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . D 端子

HDMI 出力

出力端子. . . . . .19 ピン

音声出力（2ch）

音声出力レベル . . . . 200 mVrms
（1 kHz、－ 20 dB）
出力端子. . . . . RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性. . . . . .4 Hz ～ 44 kHz
S/N 比 . . . . .115 dB
ダイナミックレンジ. . . . . .100 dB
全高調波歪率 . . . . 0.0025 %
ワウ・フラッター
. . . . .測定限界以下
（± 0.001 % W.PEAK）（JEITA）

音声出力（5.1ch）

音声出力レベル. . . . . .200 mVrms
（1 kHz、－ 20 dB）
出力端子 . . . . RCA 端子

デジタル音声出力

光デジタル出力. . . . . 光デジタル端子
同軸デジタル出力 . . . . RCA 端子

その他

USB 端子 . . . . A タイプ

付属品

リモコン 1
オーディオ・ビデオコード 1
単 3 形乾電池（R6P） 2
保証書 1
取扱説明書（本書） 1

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機では、画面表示に NEC のフォント「Font Avenue」を使用しています。FontAvenue は NEC の登録商標です。

使用上のご注意

本機を移動するとき

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクトレイを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**（またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**）を押し、本体表示窓の「-OFF-」表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用する、テレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。また、カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

通気孔をふさがない。

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

本機の電源がオンのときに、電波の状態によってはテレビ画面にしま模様が出たり、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。このようなときは本機の電源を切ってください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。そのようなときは本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

- 本体は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあります。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせるとキャビネットを傷めます。
- 化学ぞうきんなどを使うときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよく読んでください。
- お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ⏏ **開 / 閉ボタン**を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」（**P.53**）をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

著作権について

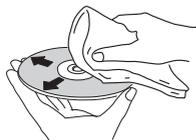
本機は、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので。のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

インターレーススキャン（飛び越し走査）

映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて1画面（フレーム）を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。この取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて（480iなど）表記してあります。

ダイナミックレンジ（DRC）

ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。破裂音のような大きな音声が小さくなり、人の声などの小さい音声がはっきりと聞こえるようになります。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオCD（バージョン2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しめます。

プログレッシブスキャン（順次走査）

映像の1画面を2回に分けずに1画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像をご覧になれます。この取扱説明書では解像度の数字の後ろに「p」を付けて（480pなど）表記してあります。

マルチセッション

CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法です。

リニアPCM

音声を圧縮しない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどのDVDビデオに収録されています。48 kHz/16 bitまたは96 kHzなどと表示されていることもあります。

DSD

Direct Stream Digitalの略です。音声信号の大小を1ビットのデジタルパルスの密度（濃淡）で表現します。

DVDオーディオ / ビデオの静止画

DVDには、音声や動画だけでなく静止画が記録されていることがあります。DVDビデオの静止画はスライドショーです。DVDオーディオの静止画は、スライドショーとブラウザブル静止画です。
スライドショーは、ディスクの設定に従って自動で静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーが好きな静止画を選んで再生します。また、静止画の番号（ページ）を指定して見たい静止画を探せます。

Exif（Exchangeable Image File Format）

エグジフと読みます。富士フイルム株式会社が開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです（JEIDA規格）。撮影や画像に関する情報（撮影日など）とサムネイル画像が収録されています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

パソコン用ディスプレイなどで使用されているDVI（Digital Video Interface）を拡張した、次世代テレビ向けのデジタルインターフェイス規格です。圧縮されていないデジタル映像および音声（ドルビーデジタル、DTS、MPEG、またはリニアPCM、またはDSD）を1つのコネクタで伝送できます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

エムペグと読みます。動画音声圧縮方法の国際標準です。DVDビデオの映像およびビデオCDの映像と音声の記録方式です。この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているDVDビデオもあります。

SACD

音楽CDより多くのデータが記録された高音質のオーディオ規格です。SACDには1層ディスク、2層ディスク、およびハイブリッドディスクがあります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの2層構造です。

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1 F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆東関東サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX　045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆関西サービスセンター	FAX 06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX 0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX 078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX 0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX 0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX 075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX 0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX 0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆中四国サービスセンター	FAX 082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX 086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX 0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX 0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX 0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX 0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX 087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX 088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX 088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX 089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

拠点	FAX	〒	住所
☆九州サービスセンター	FAX 092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX 093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX 092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX 095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX 096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX 097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービス認定店	FAX 099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F
宮崎サービス認定店	FAX 0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

拠点	TEL/FAX	〒	住所
沖縄サービスステーション	TEL 098-879-1910 FAX 098-879-1352	〒901-2113	浦添市大平2-2-6　ひろえハイツ102

平成20年5月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

さくいん

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品	■ 0120−944−222	■一般電話　03−5496−2986
■ファックス	03−3490−5718	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81028（ｺﾞｰﾊﾟｲｵﾆｱ）	■一般電話　03−5496−2023
■ファックス	0120−5−81029	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098−879−1910
■ファックス	098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81095	■一般電話　0538−43−1161
■ファックス	0120−5−81096	

平成20年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.028

J2L50301B SH 09/01 K

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<VRA1283-B>